

# 日本脳脊髄液漏出症学会 会則

## 第1章 総 則

### (名称)

**第1条** この学会（以下「本会」という。）は、日本脳脊髄液漏出症学会と称し、英文では、Japanese Society of Cerebrospinal Fluid Leak（略称 JS-CSFL）と表記する。

### (事務局)

**第2条** 本会は、主たる事務局を兵庫県明石市および姫路市に置く。

## 第2章 目的及び事業

### (目的)

**第3条** 本会は、脳脊髄液漏出症（脳脊髄液減少症および低髄液圧症候群を含む）に関連する基礎的及び臨床的研究の発展・進歩に貢献し、会員相互の意見交換、国内外の学会を通じての情報交換や交流などを行い、もって当該疾患に対する診療の発展と質の向上に寄与することを目的とする。

### (事業)

**第4条** 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会、講演会、研究会等の開催
- (2) 会誌、書籍、ガイドライン及びその他の刊行物の発行
- (3) 疾患に関連した教育活動、研究及び調査活動
- (4) 国内外の関連学術諸団体との広報、普及啓発及び協力活動
- (5) その他本会の目的達成のために必要な事業

## 第3章 学会の会員及び資格

### (学会の構成員)

**第5条** 本会は、次の各号に掲げる会員をもって構成する。

- (1) 正 会 員 本会の目的に賛同し入会した医師
  - (2) 準 会 員 本会の目的に賛同し入会した医師以外の者  
正会員1名の推薦と理事会での承認を必要
  - (3) 名誉会員 本会の創始者又は会長経験者などを含む本会に功績のあった者のうち、理事会において推挙された者
  - (4) 特別会員 本会に功績のあった者で、理事会において推挙された者
  - (5) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の行う事業を援助する目的で入会した団体  
所定の手続きと会費の納入を行い、理事長および常務理事のうち過半数の賛成があった場合
- 2 本会に評議員おおむね5名以上40名以内を置く。
  - 3 評議員は正会員の中から選出し、評議員を選出するために必要な事項は別に細則に定める。
  - 4 評議員の任期は、選任の日から3年後に次期の評議員が選任される時までとし、再任を妨げない。

### (会員の資格の取得)

**第6条** 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、所定の会費を添えて本会の事務局に入会の申込みを行うものとする。

2 準会員および賛助会員として入会を申込んだ者は、理事会の承認を得たのち、入会の認定を行う。

### (経費の負担)

**第7条** 本会の会員は、本会の活動に必要な経費に充てるため、会費として別に定める額を支払う義務を負う。

2 名誉会長及び特別会員は、会費を納めることを要しない。

3 既納の会費は、いかなる事由があってもこれを返還しない。

### (任意退会)

**第8条** 会員は、所定の退会届を本会の事務局に提出して、任意に退会することができる。

2 未納会費があるとき、これを退会前に全納しなければならない。

### (除名)

**第9条** 会員が次に掲げるいずれかに該当するに至ったときは、評議員会の決議によって当該会員を除名することができる。

(1) 本会の会則その他の規則に違反したとき。

(2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

2 前項の規定により会員を除名しようとするときは、評議員会の日々の1週間前までに当該会員に通知し、かつ評議員会で弁明の機会を与えなければならない。

### (会員資格の喪失)

**第10条** 前二条のほか、会員は、次に掲げるいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 会費の納入が継続して2年以上滞納したとき。

(2) 当該会員が死亡し、または会員である団体が解散したとき。

(3) 後見開始又は補佐開始の審判を受けたとき。

2 評議員である正会員は、前2条または前項で会員資格を喪失した際に、評議員の資格を喪失する。

### (会員資格喪失に伴う権利及び義務)

**第11条** 会員が前三条の規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する会員としての権利を失い、義務を免れる。ただし、会費の滞納など未履行の義務

は、これを免れることができない。

2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の会費及びその他の拠出金品は、これを返還しない。

## 第4章 評議員会

### (構成)

第12条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

### (権限)

第13条 評議員会は、次の事項を決議する。

- (1) 会費の金額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）等計算書類の承認
- (5) 会則の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) 合併、事業の全部もしくは一部の譲渡
- (8) その他評議委員会で決議するものとして法令またはこの会則で定められた事項

### (開催)

第14条 評議員会は、毎年1回、定時総会として毎事業年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、臨時総会として必要がある場合に開催する。

### (招集)

第15条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき、理事長が招集する。

2 評議員会を招集するときは、開催の日から少なくとも7日前までに会議の目的たる事項、日時及び場所を記載した文書を発して理事長がこれを招集する。

### (議長)

第16条 評議員会の議長は、理事長あるいは常務理事がこれに当たる。理事長および常務理事に事故があるときは、当該評議員会で議長を選出する。

### (議決権)

第17条 評議員会における議決権は評議員1名につき1個とする。

### (決議)

第18条 評議員会の決議は、法令またはこの会則に別段の定めがある場合を除き、総評議員の議決権の過半数を有する評議員が出席し（もしくは有効な委任状がある場合）、出席した当該評議員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総評議員の半数以上であって、総評議員の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 会則の変更
- (4) 解散
- (5) 合併又は事業の全部の譲渡
- (6) その他法令で定められた事項

#### (議決権の代理行使、委任状)

第19条 やむを得ない理由のため評議員会に出席できない評議員は、他の評議員を代理人として議決権の行使を委任することができる。

2 前項の場合における前条の規定の適用については、その評議員は出席したものとみなす。

#### (議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

#### (会員への報告)

第21条 評議員会の議事については全会員に報告する。

## 第5章 役員等

#### (役員を設置)

第22条 本会に、次の役員を置く。

- |    |           |
|----|-----------|
| 理事 | 5名以上20名以内 |
| 監事 | 1名以上2名以内  |

2 理事のうち1名を理事長とし、4名以内を常務理事とする。

3 前項の理事長をもって代表理事とし、同項の常務理事をもって業務執行理事とする。

#### (役員を選任)

第23条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選任し、常務理事は理事長の指名に基づき、理事会で承認する。

3 監事は、本会の理事および使用人を兼ねることができない。

#### (理事の職務・権限)

第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの会則で定めるところにより職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの会則で定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行する。常務理事は、理事会において別に定めるところにより、本会の業務を分担執行する。

3 理事長は、毎年度ごとに4ヶ月を超える間隔を開けて2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務・権限)

**第25条** 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

#### (役員任期)

**第26条** 理事の任期は、選任後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 前二項の規定にかかわらず、任期満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、法令に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### (役員解任)

**第27条** 理事又は監事は、いつでも評議員会の議決によって解任することができる。

2 監事を解任する場合は、総評議員の半数以上であって、総評議員の議決権の3分の2以上の決議に基づいて行わなければならない。

3 理事長は、理事会の議決によって解職することができる。

#### (役員報酬等)

**第28条** 本会に対する理事及び監事の職務は無報酬である。ただし、本会以外の個人あるいは団体から依頼を受けた業務は、理事会において別に定める報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬などとして支給することができる。

## 第6章 理事会

#### (構成)

**第29条** 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

3 監事は、理事会に出席し、必要がある場合は、意見を述べなければならない。

#### (権限)

**第30条** 理事会は、法令及びこの会則で定めるものの他、次の職務を行う。

(1) 本会の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

### (3) 理事長及び選定又は解職

#### (招集)

**第31条** 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、常務理事が理事会を招集する。

3 理事会を招集するときは、理事会の開催日の1週間前までに、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面または電磁的方法をもって、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。

#### (議長)

**第32条** 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、常務理事がこれにあたる。

#### (決議)

**第33条** 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合につき、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が当該提案について異議を述べた時はこのかぎりでない。

#### (議事録)

**第34条** 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。ただし、理事長が出席しない場合には、出席した常務理事及び監事の全員が記名押印する。

## 第7章 学術集会

#### (開催)

**第35条** 本会は、会員の研究発表等のため、年次学術集会を毎年1回開催する。

2 前項によるもののほか、理事会の決議を経て、必要に応じて学術集会、研究会等を開催することができる。

#### (会長)

**第36条** 年次学術集会を主催するために、本会に会長1名を置く。

2 会長は、理事会で選任する。

3 会長の任期は、その担当する年次の前年の学術集会終了の翌日から、当該年次学術集会終了の日までとする。

4 会長は、理事会に準備状況等を報告しなければならない。

## 第8章 会 計

### (事業年度)

第37条 本会の事業年度は、毎年1月1日に始まり、同年12月31日に終わる。

### (財産の管理・運用)

第38条 本会の財産の管理・運用は、理事長が理事会の決議のもとに行う。

### (事業計画及び収支予算)

第39条 本会の事業計画及び収支予算を記載した書類については、毎事業年度の開始の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

### (事業報告及び決算)

第40条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については定時評議員会に報告し、第3号及び第4号の書類については承認を受けなければならない。

### (剰余金の分配)

第41条 本会は、剰余金が生じた場合においても、当該剰余金の分配は行わない。

## 第9章 会則の変更および解散

### (会則の変更)

**第42条** この会則は、評議員会の決議によって変更することができる。

(解散)

**第43条** 本会は、評議員会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

**第44条** この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第10章 公告の方法

(公告の方法)

**第45条** 本会の公告は、電子公告により行う。

## 第11章 補則

(細則等への委任)

**第46条** この会則に定めるもののほか、本会の運営のために必要な細則は、理事会の決議により理事長が別に定める。

(経過措置)

**第47条** 本会の成立後、第46条に規定の細則が定められる間は、この会則に定めるもののほか本会の運営に必要な事項は、日本脳脊髄液漏出症学会の会則による。

(設立時役員)

**第47条** 第5条の規定にかかわらず、本会の設立時役員は、次のとおりとする。

(設立時役員)

**第48条** 本会の設立時役員は、次のとおりとする（五十音順、敬称略）。

理事長	中川紀充
常務理事	石川慎一
常務理事	高橋浩一
常務理事	光藤尚
監事	篠永正道
監事	橋本洋一郎
理事	荒木信夫
理事	大塚美恵子
理事	鹿戸将史
理事	喜多村孝幸
理事	鈴木伸一
理事	鈴木晋介
理事	西尾実
理事	堀越徹
理事	溝渕雅之



理事 美馬達夫  
理事 守山英二  
理事 山元敏正

**(最初の事業年度)**

**第49条** 本会の最初の事業年度は、設立の日から2022年12月31日までとする。

**(設立時社員の氏名)**

**第50条** 設立時社員の氏名は次の通りである（住所は略）。

設立時社員 中川紀充  
設立時社員 石川慎一  
設立時社員 高橋浩一  
設立時社員 光藤尚  
設立時社員 橋本洋一郎

以上、日本脳脊髄液漏出症学会を設立のため、電磁的記録である本会則を作成し、電子署名する。

2021年3月31日

設立時社員 中川紀充  
設立時社員 石川慎一  
設立時社員 高橋浩一  
設立時社員 光藤尚  
設立時社員 橋本洋一郎

以上

